



平成 20 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド ワ ン ゴ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 宏
(コード番号：3715東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 松 本 康 一 郎
業 務 本 部 長
(TEL. 03-3664-5477)

特別損失の発生および繰延税金資産取崩しならびに
平成 20 年 9 月期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 9 月期決算において下記の通り特別損失が発生いたします。その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 11 月 13 日付で公表いたしました平成 20 年 9 月期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）連結業績予想および個別業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生および内容について

連結におきまして、持分法適用関連会社ののれん相当額の減損処理による投資損失 296 百万円、保有投資有価証券のうち、実質価額が下落しその回復があると認められないものについての評価損 144 百万円、また一部事業資産の減損損失 120 百万円、固定資産の除却損 34 百万円を計上いたします。

また、個別におきましては、上記持分法適用関連会社の株式評価損として 416 百万円、投資有価証券評価損 144 百万円、事業資産の減損損失 99 百万円、子会社株式に対する投資損失引当金繰入額 38 百万円、固定資産除却損 3 百万円を計上いたします。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

繰延税金資産の回収の可能性について慎重に検討した結果、その一部を取崩すことといたしました。結果、平成 20 年 9 月期決算において法人税等調整額に、連結で 4 億 48 百万円、個別で 2 億 89 百万円を計上いたします。

3. 業績予想の修正について

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成19年11月13日(A))	26,800	400	400	0
今回見通し(B)	24,970	110	100	△1,710
増減額(B-A)	△1,830	△290	△300	△1,710
増減率(%)	△6.8	△72.5	△75.0	—
(ご参考)前期(平成19年9月期)実績	22,257	368	317	△1,408

(2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成19年11月13日(A))	18,500	0	0	0
今回見通し(B)	18,700	30	90	△1,530
増減額(B-A)	200	30	90	△1,530
増減率(%)	1.1	—	—	—
(ご参考)前期(平成19年9月期)実績	15,485	△488	△428	△1,747

(3) 修正の理由

連結売上高につきましては、モバイル事業において人気楽曲の権利獲得を積極的に行ったことや効果的なプロモーションを行ったことなどにより、着うたフルサイトの会員数が順調に推移いたしました。一方、ゲーム事業において、個別タイトル毎の大きなマイナスはなかったものの、全般的な販売計画本数の未達、さらにポータル事業において、「ニコニコ動画」のプレミアム会員数の計画未達などにより、平成19年11月13日に公表いたしました予想を下回る見込みであります。

経費につきましては、着うた・着うたフルの利用増加により著作権使用料が増加いたしました。外注費や広告宣伝費、研究開発費などを圧縮いたしました。

また、「ニコニコ動画」に掛かる費用につきましては、ほぼ計画通りに推移いたしました。

昨年3月からの本格的なサービス開始以降、その会員数は平成20年9月期末現在、目標であった900万人を超え、引き続き堅調に推移しております。しかし、その急成長に合わせたサーバーの増設や回線などのインフラ費用、また平成21年9月期より開始する本格的な収益施策への投資が先行し、未だ収益への貢献には至っておりません。

また、上記1. 2. のとおり特別損失の計上や、繰延税金資産の取崩しなどを主な要因として、業績予想を修正するものです。

結果、連結業績については、売上高249億70百万円(前期比12.2%増)、営業利益1億10百万円(前期比70.1%減)、経常利益1億円(前期比68.5%減)、当期純損失17億10百万円(前期比21.4%減)、個別業績については、売上高187億円(前期比20.8%増)、営業利益30百万円、経常利益90百万円、当期純損失15億30百万円(前期比12.4%増)を見込んでおります。

配当につきましては、前回予想発表時どおり年間2,000円を予定しております。

以上